

## 【News Release】

報道関係者各位

2019年7月9日

一般社団法人八重山ビジターズビューロー

# 八重山諸島での MaaS 実証実験が 国土交通省の「新モビリティサービス推進事業」に選定 ～ 八重山 MaaS 事業連携体が石垣市、竹富町で離島船舶、バス、タクシーの シームレスな交通利用サービス実現を目指す ～

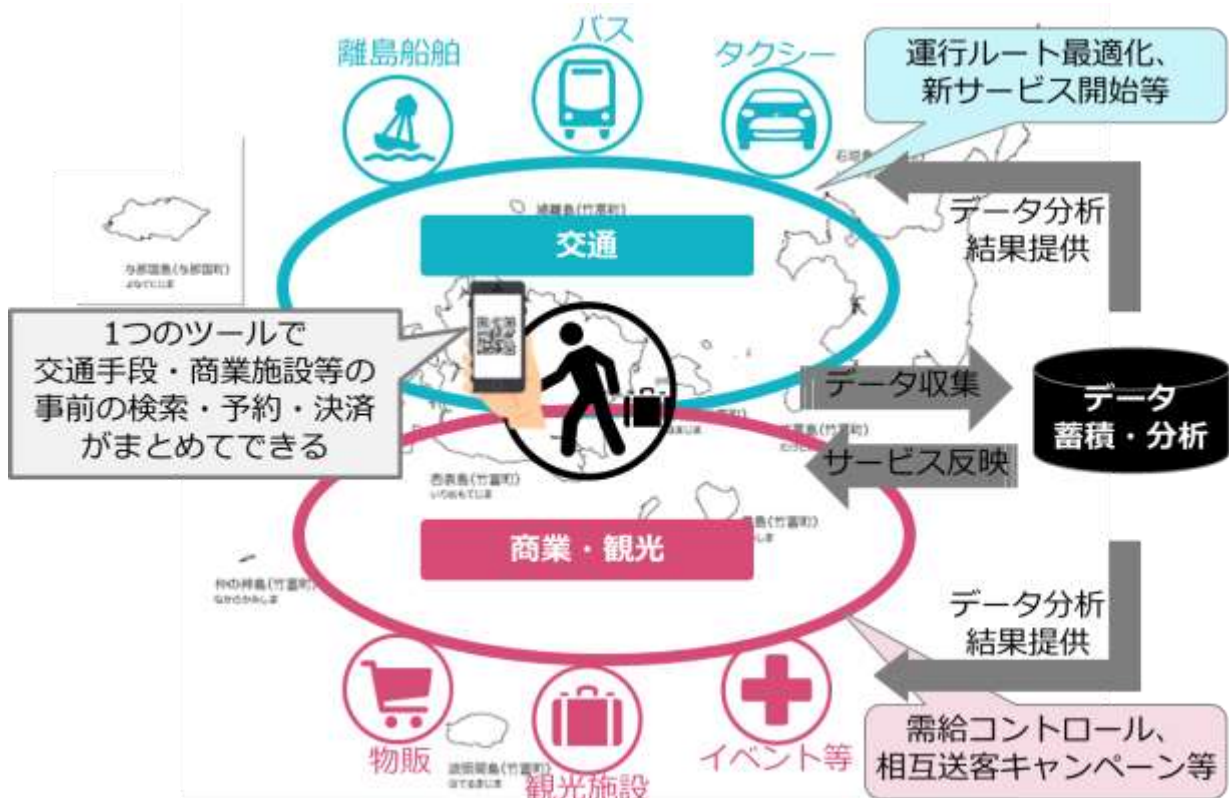
TIS 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼社長：桑野 徹、以下：TIS）が参画している八重山 MaaS 事業連携体<sup>※1</sup>は、沖縄県の八重山諸島で11月より実施予定の地域観光型 MaaS（Mobility as a Service）<sup>※2</sup>の実証実験「八重山諸島における離島船舶、バス、タクシーによる MaaS 実証実験（以下、八重山 MaaS）」が、事業の熟度が高く、全国の牽引役となる先駆的な取り組みを行う「先行モデル事業」として、国土交通省の「新モビリティサービス推進事業」に選定されたことを発表します。

八重山 MaaS 事業連携体では、八重山諸島の離島船舶、バス、タクシーをシームレスに繋ぐ新たな交通利用サービスの展開を目指すための実証実験を、2019年11月から2020年2月まで実施します。

※1：石垣市、竹富町、沖縄セルラーアグリ&マルシェ株式会社、株式会社 JTB 沖縄、TIS 株式会社、株式会社琉球銀行、一般社団法人八重山ビジターズビューローの7者により、八重山地域での MaaS サービス実現を目指して組成したもので、各者の役割は別紙の通り。

※2：MaaS（Mobility as a Service）とは、いろいろな種類の交通サービスを、需要に応じて利用できる一つの移動サービスに統合すること（出典：MaaS Alliance）

<「八重山 MaaS」のイメージ>



「八重山 MaaS」では、離島船舶、バス、タクシーの乗車券を電子化（電子チケット化）することで、スマートフォンでの電子チケット表示により加盟事業者の利用環境での処理を行い、対象の交通機関を一定期間乗り放題とするなど、公共交通手段のシームレスな利用を目指します。更に、MaaS に不可欠な乗降／利用などの各種データの収集・分析・活用による、消費者、交通事業者、商業・観光事業者それぞれにメリットのある施策を実施します。

八重山 MaaS 事業連携体では、実証実験を通じて観光地型 MaaS<sup>※3</sup>を実現し、将来的には地域住民の交通利用の利便性向上を実現する MaaS に展開し、それらを八重山諸島に限らず、沖縄県全体に拡大することを目指します。

※3：MaaS を地域特性に合わせ分類すると、大都市型、大都市近郊型、地方都市型、地方郊外・過疎地型、観光地型の5つの類型に分類される。このうち、観光地型 MaaS とは「観光客の回遊性の向上」「訪日外国人の観光体験の拡大・向上」を目的として、空港アクセス交通、都市間幹線交通含む MaaS の実現や、観光サービスとの連携などの実現を目指すものを指す。

(出典：国土交通省 都市と地方の新たなモビリティサービス懇談会資料から抜粋)

## ■実証実験の背景

八重山諸島は、旅行者が2017年以降で130万人を超える中で、レンタカー利用割合が50%を超えるなど突出した数値となっており、交通手段における公共交通手段の割合である公共交通分担率が低いという課題がありました。また、チケット購入のキャッシュレス対応が十分ではないという点も、利用者にとっては現金を持ち歩かなければならない要因で、利便性の面で課題となっていました。

そこで、「八重山 MaaS」ではスマートフォンを活用し、離島船舶、バス、タクシーのキャッシュレスによるチケット事前購入、シームレス利用、および滞在中、離島船舶、バスが一定期間乗り放題となるサービスを実現することで、ユーザー利便性向上と公共交通分担率向上などの効果検証を行います。

## ■実証実験概要

本実証実験では、沖縄セルラーアグリ&マルシェが加盟事業者利用環境整備を、JTB 沖縄が交通・商業連携の旅行商品の提供と MaaS 加盟事業者開拓を、琉球銀行がキャッシュレス決済の実現と MaaS 加盟事業者開拓を、八重山ビジターズビューローが観光施設連携強化を、TIS が MaaS プラットフォームの提供と全体取りまとめを担当します。また、石垣市、竹富町、沖縄総合事務局運輸部も参画し、国、沖縄県、八重山地域の観光・商業施策との連携に関する助言などを行う予定です。

- ・期間 : 2019年11月～2020年2月
- ・対象交通手段 : 離島船舶、バス、タクシー
- ・概要 : 離島船舶、バス、タクシーのそれぞれの乗車券を電子化(電子チケット化)して対象の交通機関を一定期間乗り放題として、スマートフォンの電子チケット表示で加盟事業者の利用環境での処理を行い、公共交通手段のシームレスな利用を実現します。

### ■「国土交通省の新モビリティサービス推進事業」について

地域の交通課題解決に向けたモデル構築を推進するため、地域の協議会、地方公共団体、民間事業者が実施する、複数の交通事業者が参画又は交通事業者と他分野のサービスが連携した MaaS の実証実験の支援を目的とした事業です。

### ■八重山 MaaS 事業連携体について

八重山地域での MaaS 実現を目指し、沖縄セルラーアグリ&マルシェ株式会社（代表取締役社長：國吉 博樹）、株式会社 JTB 沖縄（本社：沖縄県那覇市、代表取締役 社長執行役員：杉本健次）、TIS 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼社長：桑野 徹）、株式会社琉球銀行（本店：沖縄県那覇市、代表取締役頭取 川上 康）、一般社団法人八重山ビジターズビューローが、石垣市（本庁：沖縄県石垣市、市長：中山 義隆）、竹富町（本庁：沖縄県石垣市、町長：西大舩 高旬）の支援の下で組成した連携体です。

### ■TIS の MaaS への取り組み

TIS では、決済やデータ利活用の分野において新しいサービスの展開に積極的に取り組んでおり、今回の「八重山 MaaS」への参画とプラットフォーム提供もデータ活用を軸とした新サービス構築に向けた動きの一環です。今回の実証対象である観光型 MaaS に加えて、地域住民の交通課題の解決を目指す地域住民型 MaaS への対応も見据えており、「八重山 MaaS」での実績やプラットフォームを活用して、他の地域への展開も目指します。

**【別紙】**

## 八重山 MaaS 事業連携体の構成員と役割

組織名(団体名)	本事業における役割
石垣市	石垣市の交通施策、観光施策との連携強化のための助言
竹富町	竹富町の交通施策、観光施策との連携強化のための助言
沖縄セルラーアグリ&マルシェ株式会社	MaaS 基盤(加盟店利用環境)構築、ユーザーアプリ(沖縄 CLIP)提供、パスチケット提供
株式会社 JTB 沖縄	交通・商業連携の旅行商品企画立案・提供、加盟事業者(加盟店)獲得
TIS 株式会社	MaaS 基盤構築、実証全体とりまとめ
株式会社琉球銀行	キャッシュレス決済対応、加盟事業者(加盟店)獲得
一般社団法人八重山ビジターズビューロー	ユーザーからの八重山地域観光地情報問い合わせ対応、観光施設連携強化の為の助言